

青森県景気ウォッチャー調査

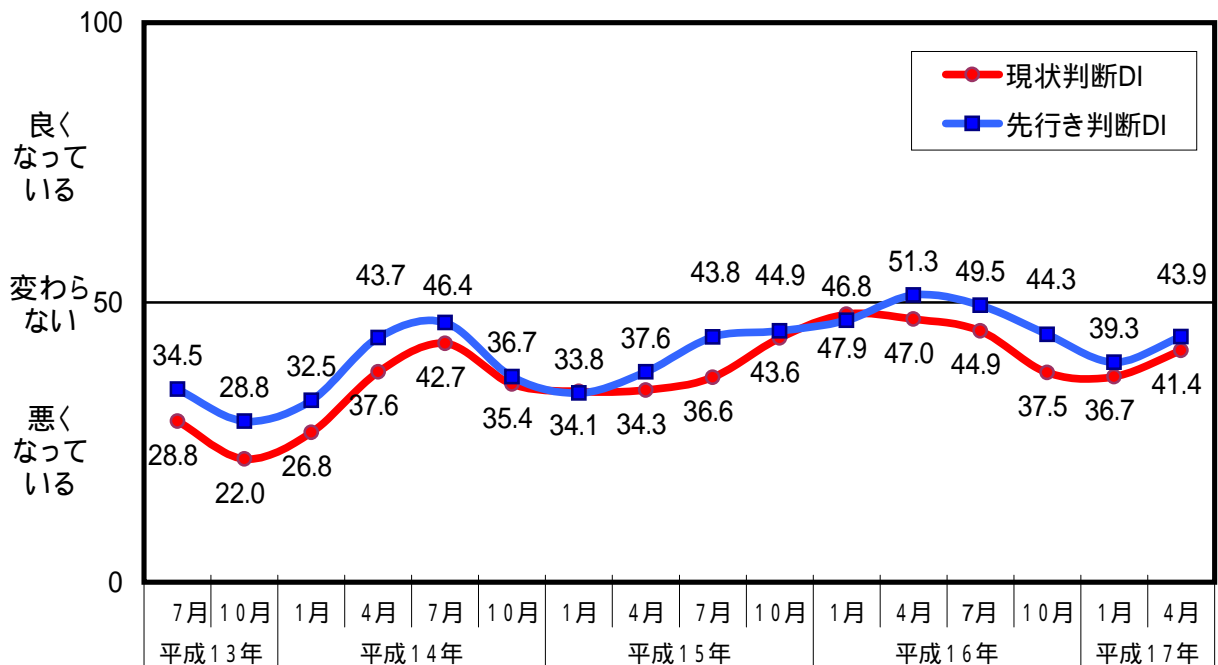
(平成17年4月期)

調査期間 平成17年4月1日～4月21日 回答率 99%

概況

4月期は、現状判断DI、先行き判断DIとも横ばいを示す50を依然として下回っているものの、平成15年4月期以来8期ぶりにポイントが増加した。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



平成13年7月は試行調査

平成17年4月

青森県企画政策部統計分析課

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
計		100	75	18	7

(2) 調査事項

3か月前と比べた景気の現状判断とその理由

3か月後の景気の先行き判断とその理由

(参考) 景気の水準判断

(3) 調査期日等

四半期に一度(1月、4月、7月、10月)実施し、翌月初旬に公表。

3. DIの算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DIを算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ
 TEL 017-734-9166(直通)又は017-722-1111(内線2188)
 FAX 017-734-8038

1. 結果概要

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「やや良くなっている」が5.9ポイント増加し、「やや悪くなっている」が10.1ポイント減少していることにより、全体では4.7ポイント増の41.4となり増加に転じたものの、引き続き横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由を見ると、今冬の豪雪の影響による客足の鈍さ・除雪費等の出費の増による買い控えによる消費低迷を挙げる声が多かった。その反面、天候の回復に伴い、反動による消費の回復傾向を挙げる声もみられた。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査と比べて、家計関連のサービスについて減少した以外は全ての分野でポイントが増加した。特に家計関連の飲食で12.5ポイント増、雇用関連で10.7ポイント増と大きく増加した。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、津軽地区で「悪くなっている」が9.8ポイント増加しており、全体では2.2ポイントの減少となった。他の3地区では「やや良くなっている」「変わらない」が増加し、「やや悪くなっている」が減少しているため、全体では6~10ポイントの増加となった。</p>

(2) 3か月後の景気の先行き判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「変わらない」が15.7ポイント増加し、「やや悪くなる」が13.0ポイント減少したことにより、全体では4.6ポイント増の43.9となり増加に転じたものの、引き続き横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由では、短期間で景気が好転する材料が見当たらず、現在の状況でしばらく推移するものとする声が多い反面、中央の回復基調の波及効果を期待する声も見られた。また、原油価格の高騰による資材の価格上昇・商品への転嫁等の影響を懸念する声も見られた。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査に比べて、企業関連で7.4ポイント減少し横ばいを示す50を下回った。原油価格の高騰に伴う資材等のコストアップによる影響を危惧する声もみられた。また、雇用関連で14.3ポイント増加し50に回復した。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、県南地区で0.8ポイント減少したが、観光シーズンを迎えること等から、他の3地区ではポイントが増加している。</p>

2. 県全体の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

DI

n=99

	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	47.0	44.9	37.5	36.7	41.4
家計関連	44.9	42.1	35.6	35.9	39.7
小売	49.1	44.2	31.5	33.3	40.0
飲食	33.3	34.1	25.0	33.3	45.8
サービス	45.4	42.3	43.3	40.4	37.0
住宅	45.8	45.8	41.7	33.3	37.5
企業関連	52.8	54.2	38.9	40.3	47.1
雇用関連	53.6	50.0	53.6	35.7	46.4

回答別構成比(%)

	平成16年 4月	平成16年 7月	平成16年 10月	平成17年 1月	平成17年 4月
良くなっている	0.0	1.0	0.0	1.0	1.0
やや良くなっている	17.2	13.3	8.3	5.2	11.1
変わらない	58.6	59.2	43.8	46.9	52.5
やや悪くなっている	19.2	17.3	37.5	33.3	23.2
悪くなっている	5.1	9.2	10.4	13.5	12.1

(2) 3か月後の景気の先行き判断

DI

n=99

	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	51.3	49.5	44.3	39.3	43.9
家計関連	49.7	47.3	42.3	37.0	43.7
小売	52.6	50.0	38.0	33.3	41.7
飲食	43.8	31.8	45.8	31.3	43.8
サービス	49.1	50.0	45.2	41.3	44.4
住宅	50.0	50.0	41.7	45.8	50.0
企業関連	54.2	55.6	52.8	50.0	42.6
雇用関連	60.7	57.1	42.9	35.7	50.0

回答別構成比(%)

	平成16年 4月	平成16年 7月	平成16年 10月	平成17年 1月	平成17年 4月
良くなる	0.0	0.0	2.1	0.0	1.0
やや良くなる	27.3	24.5	14.6	10.4	9.1
変わらない	55.6	56.1	47.9	47.9	63.6
やや悪くなる	12.1	12.2	29.2	30.2	17.2
悪くなる	5.1	7.1	6.3	11.5	9.1

3. 地区別の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

< 東青地区 >

DI

n=30

	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	45.8	40.0	38.8	35.7	41.7
家計関連	43.5	35.9	34.1	34.5	40.2
小売	50.0	30.6	27.8	31.3	41.7
飲食	25.0	25.0	25.0	33.3	33.3
サービス	41.7	44.4	40.6	37.5	41.7
住宅	50.0	37.5	50.0	37.5	37.5
企業関連	56.3	56.3	56.3	43.8	50.0
雇用関連	50.0	50.0	50.0	33.3	41.7

回答別構成比 (%)

	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
	4月	7月	10月	1月	4月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	16.7	13.3	13.8	0.0	10.0
変わらない	60.0	46.7	37.9	57.1	60.0
やや悪くなっている	13.3	26.7	37.9	28.6	16.7
悪くなっている	10.0	13.3	10.3	14.3	13.3

< 津軽地区 >

DI

n=30

	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	47.4	45.7	35.7	41.4	39.2
家計関連	48.8	42.9	33.8	41.7	38.6
小売	50.0	50.0	28.6	34.4	33.3
飲食	41.7	33.3	25.0	41.7	66.7
サービス	53.1	35.7	40.6	50.0	37.5
住宅	37.5	50.0	37.5	37.5	25.0
企業関連	41.7	54.2	37.5	37.5	41.7
雇用関連	50.0	50.0	50.0	50.0	37.5

回答別構成比 (%)

	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
	4月	7月	10月	1月	4月
良くなっている	0.0	3.4	0.0	3.4	3.3
やや良くなっている	10.3	3.4	3.6	10.3	10.0
変わらない	69.0	75.9	46.4	41.4	43.3
やや悪くなっている	20.7	6.9	39.3	37.9	26.7
悪くなっている	0.0	10.3	10.7	6.9	16.7

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	48.3	51.7	40.5	37.1	45.7
家計関連	44.0	50.0	41.3	36.3	42.9
小売	50.0	55.6	37.5	37.5	44.4
飲食	25.0	41.7	33.3	41.7	41.7
サービス	42.9	46.4	50.0	35.7	39.3
住宅	50.0	50.0	37.5	25.0	50.0
企業関連	57.1	57.1	32.1	42.9	50.0
雇用関連	62.5	50.0	62.5	25.0	62.5

回答別構成比 (%)

	平成16年 4月	平成16年 7月	平成16年 10月	平成17年 1月	平成17年 4月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	26.7	26.7	10.3	6.9	13.8
変わらない	46.7	56.7	48.3	48.3	55.2
やや悪くなっている	20.0	13.3	34.5	31.0	31.0
悪くなっている	6.7	3.3	6.9	13.8	0.0

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	45.0	36.1	30.0	25.0	35.0
家計関連	41.7	37.5	30.6	25.0	33.3
小売	41.7	33.3	33.3	25.0	41.7
飲食	41.7	37.5	16.7	16.7	41.7
サービス	41.7	41.7	41.7	33.3	16.7
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	25.0	25.0	25.0	50.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成16年 4月	平成16年 7月	平成16年 10月	平成17年 1月	平成17年 4月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0
変わらない	60.0	55.6	40.0	30.0	50.0
やや悪くなっている	30.0	33.3	40.0	40.0	10.0
悪くなっている	0.0	11.1	20.0	30.0	30.0

(2) 3 か月後の景気の先行き判断

< 東青地区 >

DI

n=30

	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	50.8	48.3	44.8	40.2	45.0
家計関連	45.7	43.5	43.2	36.9	42.4
小売	50.0	44.4	38.9	34.4	44.4
飲食	41.7	33.3	50.0	25.0	33.3
サービス	41.7	44.4	46.9	40.6	41.7
住宅	50.0	50.0	37.5	50.0	50.0
企業関連	75.0	68.8	62.5	56.3	56.3
雇用関連	58.3	58.3	33.3	41.7	50.0

回答別構成比 (%)

	平成16年 4月	平成16年 7月	平成16年 10月	平成17年 1月	平成17年 4月
良くなる	0.0	0.0	3.4	0.0	3.3
やや良くなる	26.7	23.3	10.3	7.1	3.3
変わらない	53.3	56.7	58.6	57.1	73.3
やや悪くなる	16.7	10.0	17.2	25.0	10.0
悪くなる	3.3	10.0	10.3	10.7	10.0

< 津軽地区 >

DI

n=30

	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	53.4	50.9	41.1	38.8	45.0
家計関連	54.8	48.8	41.3	38.1	46.6
小売	59.4	47.2	35.7	34.4	38.9
飲食	25.0	50.0	58.3	25.0	50.0
サービス	62.5	50.0	40.6	46.9	53.1
住宅	50.0	50.0	37.5	37.5	50.0
企業関連	45.8	54.2	41.7	41.7	37.5
雇用関連	62.5	62.5	37.5	37.5	50.0

回答別構成比 (%)

	平成16年 4月	平成16年 7月	平成16年 10月	平成17年 1月	平成17年 4月
良くなる	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0
やや良くなる	34.5	24.1	7.1	6.9	16.7
変わらない	48.3	62.1	42.9	51.7	56.7
やや悪くなる	13.8	6.9	42.9	31.0	16.7
悪くなる	3.4	6.9	3.6	10.3	10.0

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	51.7	50.0	50.0	42.2	41.4
家計関連	51.2	50.0	46.3	38.8	42.9
小売	55.6	58.3	46.9	34.4	38.9
飲食	58.3	16.7	41.7	41.7	41.7
サービス	42.9	53.6	46.4	39.3	46.4
住宅	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
企業関連	50.0	50.0	57.1	57.1	33.3
雇用関連	62.5	50.0	62.5	25.0	50.0

回答別構成比 (%)

	平成16年 4月	平成16年 7月	平成16年 10月	平成17年 1月	平成17年 4月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	26.7	26.7	27.6	20.7	0.0
変わらない	60.0	53.3	44.8	37.9	69.0
やや悪くなる	6.7	13.3	27.6	31.0	27.6
悪くなる	6.7	6.7	0.0	10.3	3.4

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年	平成17年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	45.0	47.2	35.0	30.0	45.0
家計関連	44.4	46.9	33.3	30.6	41.7
小売	33.3	50.0	16.7	25.0	50.0
飲食	50.0	25.0	33.3	33.3	50.0
サービス	50.0	58.3	50.0	33.3	25.0
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	50.0	50.0	25.0	75.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成16年 4月	平成16年 7月	平成16年 10月	平成17年 1月	平成17年 4月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	10.0	22.2	10.0	0.0	30.0
変わらない	70.0	44.4	40.0	40.0	40.0
やや悪くなる	10.0	33.3	30.0	40.0	10.0
悪くなる	10.0	0.0	20.0	20.0	20.0

4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由	
良い	家計	津軽	レストラン	時期的なもの。5月末までは上昇、6月からがどうなるか？	
やや良い	家計	東青	百貨店	前年割下幅が少しずつ縮まっている。	
			美容院	卒業、入学シーズンは例年、売上、客数が増加する。	
			乗用車販売	ショールームへの来店客が増えてきている。(フリー客)	
		津軽	一般飲食店	雪が多くて冬の間年配の方はあまり外出していなかったので、雪どけとともに外出が多くなり買い物・外食も増えている。また入学・入社の準備の買い物も増えている。	
			パチンコ	雪解けとともに、お客様の出足が良くなってきた。	
		県南	乗用車販売	決算ということもあり、3月半ばから末にかけてお客様の動きが需要期らしいにぎわいを見せたと思う。	
			一般小売店	2月、3月と今年の冬は長く積雪も多く、消費にマイナス要因が多かった。その反動らしき物の動きが少し見える。	
		下北	レストラン	イベント企画、アイデアを盛り込み、顧客を呼び少しは良くなった。	
			企業	県南	電気機械製造
		どちらとも言えない	家計	東青	都市型ホテル
設計事務所	周辺から好転の情報がなかった。				
競輪場	一人当たりの購買額が伸びず、頭打ち状態。				
観光名所等	景気が悪いところに、今回の豪雪で、春のきざしが見えません。				
家電量販店	来店客の前年割れが続いている。				
一般飲食店	当店では、景気の上昇か、経営独力が判らないが、2月3月が若干良くなった。4月、5月、6月分で判断したいと思います。				
スナック	悪い意味変わらないと思います。この状況が普通で当たり前なのでしょう。そう思わないとやりきれないです。だけど期待しておりますが。				
スーパー	競争関係での勝ち負けあるけれど、全体的に、または平均的に勝っている方が多いと言えない。				
コンビニ	今年は大雪だった為か、雪解けがおそく、国道等は雪はないものの公園や校庭等にはまだ雪のカベがあります。春先はいろいろ人の出入りもあるのに今年は残念ながらまだまだの様です。				
津軽	旅行代理店				GDPはプラス傾向の発表ですが一般消費者の意識は日本の景気は相変わらず悪いとの認識がある。
	百貨店				購買客単価に大きな変化がなく、アパレル商品の動きが依然低下傾向である。

どちらとも言えない	家計	津軽	都市型ホテル	豪雪で、りんごなど出来秋に不安が残り、消費が伸びない。
			商店街	豪雪による影響からなのか、一般家庭においても除雪等の出費が重なり、消費を節約する傾向が見受けられ、商店街の売上が上向いたような感じがしない。
			スーパー	お買い上げ点数が変わらない。1人あたりのお買い上げ金額が変わらない。
		県南	旅行代理店	鉄鋼、原油高が続いている状況で、これら利用度の高い関連業界での企業収益に影響を与えてきている。
			設計事務所	愛知県や、外国との取引のある企業は景気が引き続き良いようですが、当市は公共事業が少なければ景気の回復は難しいと思う。
			住宅建設販売	消費に対する意欲が上向いているようには見えない。(顧客の年収も、横ばいもしくは下降ぎみに感じられる。)安いものであれば良いという顧客が多い。
			観光型ホテル・旅館	状況的に悪いままで推移していますので変わりません。
			家電量販店	最需要期でも、前年を上回る事が非常に少ない為。
			一般飲食店	景気の低迷は相変わらず続いている。閉店している商店が引き続き増えている。
			パチンコ	大手中央企業の全国展開している企業の地方進出、年金問題の不安感、構造改革の不透明及び先行懸念、雇用の問題等、市民は期待感を持ってないため、経済が活発化する要素が残念ながら現在はない。
			タクシー	今冬は雪が多く、寒かったので、タクシーの乗車率は良かった。けれども景気とは関係ないように思える。
			スーパー	低価格品志向は変わっていない。
			コンビニ	今現在の地域市場での好景気(求人情報も含む)が見られない。又、自店においても客数は入るが、買い控えが見られる為。
	下北	都市型ホテル	歓送迎会以外の宴会が少なくなった。単価も下がったままである。	
		一般飲食店	最悪を引きずっていますから。	
		スーパー	「雪もなくなり、春だというのに自分達には春がこない」「仕事がない」という話ばかりである。	
		コンビニ	悪い状態のままである。むつ市は合併したのですが、合併によるメリットはなんなののでしょうか。公務員の給料は下げる方向なののでしょうか。	
	企業	東青	食料品製造	当県は相変わらず求人倍率は全国ワーストワンが続いていることから窺える。
			広告・デザイン	広告業務を行っていますが、広告の出稿量が多くない。
			建設	景況は上向きと見ているが、建設業にあっては、官公営の減少が厳しく 民営は競争による収益低迷 - という状況につき総じて目立った変動は起きていない - と考えられる。
経営コンサルタント			県内の建設業に回復が見られないから。	
	津軽	電気機械製造	景気を牽引するヒット商品が見あたらないため。	

どちらとも言えない	企業	津軽	食料品製造	長びく景気の低迷に加えて豪雪、原油価格の高騰等々
			経営コンサルタント	現時点で売上の増加している事業者が著しく少ない。
		県南	紙・パルプ製造	製品価格復元が一巡したところだが、その一方で一部の資材の値上げや円安による輸入諸資材の価格上昇があり、採算がなかなか好転しない。
			建設	悪い状態が常態化しており、好転する兆しが無い。
			経営コンサルタント	企業倒産も少なく、特別に良いとか、悪いとかというより、景気が良くなるらない、この先も同じでないかと悲観的。
			飲料品製造	高額商品は売れている。が量販タイプのレギュラー品の安値への移行は歯止めがきかない。
	雇用	東青	食料品製造	売上は伸びているが、飛び込み的な要素で、継続的ではないから。
			人材派遣	3月は退職者増で、派遣人員は若干減少した。(4月以降新規採用で回復の見込み)新規派遣要請先が増加した。一方で減員先も増えている。
		津軽	新聞社求人広告	市民生活のバロメーターの一つである飲食業関係の広告出稿が少なくなった感がある。
			人材派遣	いくつかの企業へ新規求職者採用予定を聞いてみたが、採用を控え目にしているところがほとんどだった。
やや悪い	家計	東青	旅行代理店	今年の大雪の影響で従前売れていた商品の動きが遅い。すべてにおいて出足が鈍く、停滞している感が強い。
			住宅建設販売	表面上の景気は上向き(数値上)ですが、個々の所得等個人生活の環境は悪化している。
			観光型ホテル・旅館	例年になく大雪で旅客の動きが悪い。原油の値上げなどにより、不信感が増している。
			衣料専門店	この冬の豪雪の為、来店数が半減した。先取り商品の不毛の為、消費意欲に欠ける。年金等社会保障の改悪に敏感に反応し、不必要な買い物はしないという傾向が強い。
		津軽	家電量販店	デジタル家電の売れ行きに、一時ほど勢いが感じられない。
			卸売業	お客様からの製品受注や製品出荷状況をみた結果
			一般小売店	1~3月は特に天候の影響であったと思うが、前の3ヶ月間に比べて伸び率が著しく低下した。
			衣料専門店	消費者の買い控え、2月の大雪と寒さと屋根雪のおろし、片付けで10万~15万の費用がかかっている。
			スナック	客数が減り、客単価が下がっている飲食店が多い。
		県南	百貨店	前年同月は、売価の総額表示による買い控えや、年金問題などで低迷したが、1年経過しても回復傾向は見られない。

やや悪い	家計	県南	美容院	曜日にかかわらず来客数が減少している。年度末のせいもあるかもしれない。お客様の話ではかなり出費を抑えているようです。	
			商店街	春らしい天候に恵まれず、春物商品の出足が鈍い。フレッシュマン、進学、入学セールも期待した程でなかったようだ。	
			観光名所等	毎日の売り上げが去年よりも少なくない様な気がします。お客様はまあまあですが、客単価が少なくない様です。	
			卸売業	売上、利益とも改善の兆しが見えない。消費が低迷しており、良くなる材料が聞こえてこない。	
			衣料専門店	いつもいらしていただくお客様方がセットでの買い方が少なく今迄のものに1点~2点プラスする程度の買い方になっている。	
			スナック	忘新年会の予約が激減。	
			ガソリンスタンド	良くなったとの話は聞かれない。	
	企業	津軽	広告・デザイン	建設関連の仕事は依然として増えておらず見積もり依頼件数は激減している。	
			飲料品製造	鉄の価格は高くなって、原油は高騰し、灯油、ガソリン、重油が値上がりしている。	
	雇用	津軽	新聞社求人広告	地域における景気浮揚となる材料(要因)が見当たらない。	
東青			商店街	年金問題など、社会的不安要素が多く、活発な消費行動には結びつきにくい。	
			一般小売店	明るい材料が見当たらない。暗い材料ばかりが目立つ。	
悪い	家計	東青	レストラン	青森県全体の景気がよくなるためには何が必要か?それがみんなわからない状態!	
			タクシー	3ヶ月前の12月も忘年会等に対するタクシー利用は低迷。大雪による客の外出が落ちている。	
			津軽	設計事務所	建設業者及び設計業者並びに関連業者とも、受注件数が少ない。
				観光名所等	上越地震 豪雪
	観光型ホテル・旅館	豪雪による出費で大変厳しい状況にあると思う。			
	ガソリンスタンド	原油市況の高騰により仕入れ値、売価が上がり自動車業界だけでなくさまざまな業種にも悪影響が出て来ている。			
	下北	下北	タクシー	ここ10年間位平均6~7%で売上が下降を続けています。昨年からはさらに悪化(マイナス10%)に落ち込んで歯止めがかかりません。	
			スナック	建設業の不振が第一にあげられる。	

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良い	家計	東青	乗用車販売	買い控えしていたお客様が購入の意志を示しはじめている。
やや良い	家計	津軽	パチンコ	昨年の台風、豪雪から抜け出し、景気回復の傾向にあると考える。
			商店街	当市はこれから観光シーズンに入ることから、経済活動に活性化が期待でき、商店街への波及効果が望める。
			都市型ホテル	特に今年は豪雪の影響で1～3月はレストラン部門の客足が落ちた。暖気とともに回復を期待する。
			観光名所等	観光シーズン
	下北	レストラン	観光シーズンです。期待しています。	
		都市型ホテル	春になり観光客が動いてくるため。	
	企業	東青	建設	中央の回復基調が、穏やかながらも当地方へ波及してくると考えられる。なお、ここに来て中央の基調がやや下降気味になっていることと石油市況の高騰の2点が気になるものの、鋼材の増産に見られるようにプラス要因も少なくなり、総じて懸念はあるまい。
	下北	食料品製造	今年のゴールデンウィークの曜日が昨年より良く、集客が見込めるから。(愛知万博に集中するかも知れませんが)	
どちらとも言えない	家計	東青	コンビニ	店の近くは生保のビルが立ち並んでいますが、この地域の家賃が柳町通り、新町に比べまだ高いとのこと。一部上場企業でさえ、家賃の安い所へ引っ越していっています。3月末にも2社引っ越しました。さびしいです。
			家電量販店	好転する材料が見当たらない。
			一般飲食店	4月、5月、6月を楽しみにしています。
			スナック	悪い意味で変わらないと思います。この状態が普通で当たり前なのでしょう。お話では全く良くなっていないとのこと。不景気だということですね。
			観光型ホテル・旅館	今の状態でしばらく推移すると思われる為。
			都市型ホテル	雇用状況の悪化と企業のリストラが続いている。又、個人消費の足踏み状態にあり、当社の採用も短時間採用者とパート採用で欠員補充している。
			旅行代理店	前年並みの受注状況です。
			設計事務所	短期間に状況が動く状況を感じられない。
			住宅建設販売	個人の消費意欲(特に高額商品の)が伸びない。

どちらとも言えない	家計	東青	百貨店	3ヶ月程度は、このままの状況が継続。但し、今冬の様な、異常な天候要因があれば、大きく変化する。
			競輪場	年金や税金等のハッキリしたビジョンが見えない。
			スーパー	短期的には変わる理由が見つからない。長い冬が終わり、春と夏がいつ頃に来るといった心理的な開放感だけ。
		津軽	百貨店	購買変化をプラスに変化させる要因が見つからない。
			スーパー	今年の就職率から見ても、決して良くならないと思う。
			スナック	個人消費の拡大のよい材料が見つからない。
			設計事務所	3ヶ月先位では、役所関係の仕事も多く出ない状況で、あまり良い状態にはならないと思います。
			家電量販店	夏商戦は気候に大きく左右されるが、去年のようにはいかないと思われる。
			一般小売店	1～3月は本当に天気が良くなかったのが、その分4～6月は回復するとしても（やや悪く）（変わらない）ところまでの戻りが精一杯か。
			一般飲食店	景気が上向きつつあると言うが、なぜなのか理由が解らないので、今のところ変化はないと思います。
			旅行代理店	業種によって差がありますが、全体的に良い材料が見当たらない。
			県南	家電量販店
		一般小売店		対中国、韓国の政策次第で景気に及ぼす影響が大きく変化されると思われるので。（プラス、マイナス方向ともに）
		住宅建設販売		季節的な要因で、着工数自体は増加すると思われるが、受注数はあまり変化ない状態と考える。
		百貨店		今後、消費が拡大し、景気が良くなるというプラスの要因が見当たらない。
		一般飲食店		北東北に関して、良くなる要因が見つけれない。当県においても、財政が赤字で公共事業凍結等各社に仕事がない状態です。
		観光型ホテル・旅館		状況的に悪いままで推移していますので変わりません。
		観光名所等		最近産直がたくさんできたので！
		設計事務所		官公庁の発注が多くあるとは思えないが、1年後位には合併効果が出るのでは（10年間）と期待しております。
		コンビニ		5月のG.W.最大10連休を含め、移動マーケットでとらえて見ても、海外への旅行者の増加によるマイナス要因・・・（予想ではあるが）又、大幅なる求人等の要因なくしては今後の景気の変動は見られないと思う。
スーパー	一部の企業のみ業績が上がり、中小企業中心に、依然景気はよくないと考えます。			

どちらとも言えない	家計	県南	乗用車販売	中央（首都圏）の方は上向いてきたという話もあるが、地方に来るまではタイムラグがあるので夏場以後に期待している。	
			旅行代理店	旅行関係では、愛知博への出足が鈍い。また、海外関係では反日運動の広がりから中国への観光旅行のキャンセル、手控え等の影響が懸念される。	
			タクシー	新卒者の就職難、リストラ等、あまり良い条件が見あたらない。	
			レストラン	南郷村との合併による相乗効果に期待するが・・・。	
			美容院	卒業、入学、新社会人の時期的出費の後の回復の長引きと、郵政民営化の転機のため、他の政策の対策の遅れによって景気回復と安心感を持ってずかなり警戒しているため。	
		下北	コンビニ	仕事の量は変わらない。正社員は募集していない。社会保険の保険料を支払しないように従業員の就業時間を少なくして、「足りなかったらアルバイトして」こんな状態です。	
			スーパー	景気が良くなるような話は全然出てこない。	
			一般小売店	休職、失業者が減少していけば、先行きも明るいのですが、現在全国ワースト1の有効求人倍率では、景気も良くなっていくとは思えませんが・・・。	
			一般飲食店	悪くなるのではないかと思います。これ以上悪くなってほしくないことを祈りをこめて回答しております。	
			企業	東青	食料品製造
	広告・デザイン	広告出稿量が多くは見込めない。			
	経営コンサルタント	中央の回復の波及を期待したいが、最近のガソリン等の値上げの影響、建設業の公共工事の見込薄等が懸念される。			
	津軽	食料品製造	豪雪の影響でりんごの木の被害がどの程度経済に影響するか危惧される。		
		電気機械製造	今年度上期はこのままの状態が続くだろうという話が多い。		
	県南	飲料品製造	景気回復は政権の課題ではない様なので。		
		電気機械製造	危機感のうすい人もある程度いるので急激な景気の変化には結びつかない気がします。一進一退を繰り返しながら少しずつ良くなっていくように思う。		
	雇用	東青	人材派遣		業種によりバラつきあると思うが、各社共現状維持の状況である。人員削減傾向は依然続いており、派遣社員要請はプロパー社員の代替要員である。
			新聞社求人広告		県内の求人広告もここ最近芳しくなく、まだ足踏み状態が続くものと思われる。
		津軽	人材派遣		この冬、津軽地方の降雪はいつもよりかなり多く外出を控えたためか、小売店の売上げが落ち込んだと聞いている。多少なりとも景気に影響が出るのではないか。
			新聞社求人広告	地域における景気浮揚となる材料（要因）が見当たらない。	

やや悪い	家計	東青	衣料専門店	政治の「無策」に失望している。商店の「廃業」「閉店」が続いているのは、実態調査が不十分であり、従って「対策」が何も出てこない。県は、早急に「景気対策本部」を立ち上げ、意見を聞き、「対策」を講じるべきだ。
			美容院	新卒者の就職が困難になっている。アルバイトもないのに、その他の出費が多くなっているため、家庭の経済が悪化している。
		津軽	観光型ホテル・旅館	ガソリン、公費等の値上がりにより家計が圧迫するのが必然。レジャーに使う割合が益々減ると思う。
			衣料専門店	新聞、テレビによる景況感 2 期連続で悪化、とメディアの放送により、消費が萎縮している。
		県南	スナック	良くなって欲しいが客足が悪い。
			パチンコ	県・市の財政が縮小され、公共事業等も抑制されている状態なので何か即効性の政策が必要と思う。
			衣料専門店	顧客は、新商品が入荷すると高くても買って下さっていたが、最近は割引セールの時だけ来店する方が増えている。
			卸売業	ガソリンの値上げ、社会保険の改定などにより、さらに消費が落ち込むことが予想される。
		下北	スナック	先行きに明るさがない。
	企業	津軽	広告・デザイン	回復傾向にある中央企業もここに来て足踏みしている様に思う。良くなるという要素が乏しい。
			飲料品製造	原油や鉄の価格の影響で、容器や資材が値上げの傾向にある。いずれ商品などに転嫁されて、消費者への影響が心配だ。
			経営コンサルタント	売上の増加する環境が見えてこない。
		県南	紙・パルプ製造	輸入木材チップ価格の上昇、原油高騰に伴う諸資材の値上げ、石炭にかかる石油石炭税率の上昇など、資材コストアップにより損益を圧迫することが見込まれる。
食料品製造			数量が伸びず、単価が安くなると思う。消費者の購買力が落ちてきている様に思われるので、良くならないと思う。	
建設			公共工事の発注減・民間工事の競争激化 } 当面、この状態が継続していくと思われる。	
経営コンサルタント			良くなる条件がない。地域的に不況であり、国の財政出動も望めない。	
悪い		家計	東青	一般小売店
	レストラン			いったいどうやったらよくなるのかわからない。
	タクシー			4 / 1 からの保険料等々の値上がりによる企業の負担増で経費の節約、個人は賃上げゼロ、賞与の減と中央に比べまだまだ（県民所得下位）景気の右肩上がりの傾向が見えぬ。

悪い	家計	津軽	卸売業	私たちの業界は、公共事業の比重が多く、公共事業の景気がなかなか回復の傾向にみられず、製品などの出荷状況が減少している為。
			ガソリンスタンド	原油高、円安の影響で、輸入業種に悪影響を及ぼしている。
		県南	商店街	景気の下向き感が強く、ガソリン等の値上げからも益々買い控えや自衛策から更に消費が低迷すると思う。（仕事がない、昇給がない）
		下北	タクシー	サービス業は家計の余裕に比例している部分があると思います。周りのお客の話ですが、正社員からパートになって給料が下がったと聞くことが多くなりました。その現象の拡大相乗効果が続くと考えられます。
			ガソリンスタンド	良くなる理由が見当たらない。

5 . 参考

(参考 1) 景気の現状判断

D I

n=99

	平成 1 6 年	平成 1 6 年	平成 1 6 年	平成 1 7 年	平成 1 7 年
	4 月	7 月	1 0 月	1 月	4 月
合 計	29.8	30.1	28.1	23.4	25.3
家計関連	29.4	29.8	26.8	22.9	26.3
小売	34.5	33.3	25.9	20.4	28.3
飲食	25.0	27.3	18.8	22.9	27.1
サービス	29.6	27.9	32.7	25.0	24.1
住宅	12.5	25.0	20.8	25.0	25.0
企業関連	29.2	31.9	31.9	25.0	23.5
雇用関連	35.7	28.6	32.1	25.0	17.9

回答別構成比 (%)

	平成 1 6 年 4 月	平成 1 6 年 7 月	平成 1 6 年 1 0 月	平成 1 7 年 1 月	平成 1 7 年 4 月
良い	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
やや良い	9.1	8.2	5.2	2.1	4.0
どちらとも言えない	31.3	27.6	31.3	25.0	28.3
やや悪い	29.3	36.7	34.4	37.5	32.3
悪い	30.3	26.5	29.2	35.4	35.4

地区別 D I

	平成 1 6 年	平成 1 6 年	平成 1 6 年	平成 1 7 年	平成 1 7 年
	4 月	7 月	1 0 月	1 月	4 月
合 計	29.8	30.1	28.1	23.4	25.3
東青	24.2	25.8	24.1	21.4	24.2
津軽	36.2	32.8	32.1	26.7	25.8
県南	30.8	32.5	30.2	26.7	27.6
下北	25.0	27.8	22.5	10.0	20.0

(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	コンビニ	青森では全国的なイベントもたくさんあります。今年は7月に高校祭もあります。こうした全国レベルの企画がたくさんあればもっとお金が落ちると思います。しかし、それには財政負担もかかります。どっちにしても人の出入りが多い方が景気回復への1歩だと思います。
家計	東青	スーパー	客単価と一品当たりの単価ダウンは20ヶ月ぶりくらいに歯止めがかかった。安売り自体はもう戦略的限界かも。
家計	東青	乗用車販売	雪の影響で購入(車)時期がずれこんでいることと、10年以上お乗りいただいていたお客様が購入(代替)希望へ意識が変わってきている。
家計	東青	衣料専門店	何の為の景気ウォッチャー調査なのだ。分析して「対策」を講ずるのが行政であり、政治の仕事だ。景気ウォッチャー会議を年2回位は開催すべきだ。
家計	東青	家電量販店	原油価格上昇が県内経済に与える影響懸念。
家計	東青	商店街	3月は、一店逸品運動事業による「逸品フェア」の開催や、縄文スタンプによる「決算感謝セール」という販促活動を活発に展開し、郊外型商業施設に対抗し、消費の喚起を図った。
家計	東青	レストラン	昨年、今年で、景気がよくなったという声はきいたことがない。やはり、県全体、県民全体の経済の流れが悪いと思う。
家計	東青	スナック	経済に対していろいろ沢山ありますが、私達のお仕事はお客様の情報が入りますので良く解りますし、いろいろですね。良い話はありません。
家計	東青	都市型ホテル	企業のリストラと経費節減等により、宴会、レストラン売り上げ等は低水準で推移している。当社利用企業の宴会回数と予算縮小が目立っている。今後の販売伸び悩み状態が続くものとみられる。
家計	東青	観光名所等	年金、教育費など出費の増により、ますますサイフのひもがかたくなるのでは？
家計	東青	タクシー	久しぶりに花の見頃が連休に掛かりそうであり、市内の方々は自家用等の移動で期待薄。雪と花を楽しむ県外客に期待する。
家計	東青	美容院	就職もなく、アルバイトもなかなかない状況が続いている。ワークシェアなどの対策による雇用促進が必要ではないか。
企業	東青	建設	新幹線の現実性が高まってきたものの、必然とされる迄ストロ-効果への対処例が乏しく、当地産業経済の長期的先行が心配。これは、土地柄とか土地っ子気質をも反映したものであろうが、何とかならないものか。
雇用	東青	人材派遣	最近若年層の離職者が目立っている。一方高齢者の応募の比率が増加している。又派遣要請先の動向としては、一定のスキルを持った人材を要望する傾向にある。
家計	津軽	百貨店	食品は大きな変化が見られず安定した売り上げで維持している。
家計	津軽	スーパー	地元での就職先がない為、県外に流れているかぎり景気は良くなるらない。
家計	津軽	衣料専門店	最近弘前商店街、駅前の地価が下がり、ホテル、マンション業者が購入している。

家計	津軽	家電量販店	家電販売業界は競争が激しく、単価ダウンに歯止めがかからない。それでもマーケットは拡大していない。
家計	津軽	一般小売店	当社の所属している小売商団体の話を聞いても景気は良くない。まだ前年を上回っている当社の方がましという感じです。
家計	津軽	商店街	ガソリン等の大幅な値上げによる、経済の鈍化が懸念される。
家計	津軽	レストラン	弘前中心土手町が少しずつ動き始めた。1Fの空き店舗がなくなりつつ、またマンション建設の話もある。
家計	津軽	観光型ホテル・旅館	弘前の桜祭りの予約時期なのに例年にない落ち込みで毎年の祭り期間の料金より低料金が多く利益が期待できない。
家計	津軽	都市型ホテル	市街地に宿泊特化のビジネスホテル進出の様相だ。新設備と人的ソフト面で対応して行く。
家計	津軽	旅行代理店	豪雪によるりんご等の農作物の被害が心配されます。特にりんごのわい化の枝折れは収穫に響くと思います。
家計	津軽	ガソリンスタンド	今冬の豪雪の影響で、忙しい業種があったようにみえた。
家計	津軽	設計事務所	毎回、同じ質問ではなく多少なりとも変えてみては・・・。
企業	津軽	食料品製造	わずかに期待できるのは、ゴールデンウィークと桜の満開が一致しそうな事。
企業	津軽	飲料品製造	豪雪でりんご樹の枝が無惨に折れている。大きな被害で秋の収穫への影響が心配だ。建物などの雪害も多く、被害者は大変だと思う。除雪など豪雪の与えた経済効果は少ないだろう。
企業	津軽	電気機械製造	原油高や中国の反日問題などが長引けば景気に悪影響を与えそうである。
企業	津軽	建設	雪が解けて、道路等交通の便が良くなってきたがその他の被害が出ている。雪解けによる土砂災害、りんごの木の花の枝折れ、倉庫屋根の倒壊等、今年の雪は、大変な物をもたらした様な気がしました。
企業	津軽	経営コンサルタント	最近、発表される指数が、青森県はいつも下から1、2番目で、なにかよい指数が出るというきっかけになるのでは。
企業	津軽	広告・デザイン	本調査はどの様に活用されているのか、県政策等々の参考材料にもなっているのか。
雇用	津軽	新聞社求人広告	地方行政・自治体の経費圧縮が地元企業等の経費削減に拍車を掛けているように思われる。
家計	県南	乗用車販売	今年の3月に限って言うと、支払いがローンが多く、過去の3月の中ではかなり売上高の高い月だった。手持ち資金を崩さず、長期の分割を選ばれたお客様が多かった。将来に対する不安の表れなのかもしれないと思った。
家計	県南	衣料専門店	ここ一番という大事なときは、高額なものも買って下さるが普段は上手に安いものを取り入れ間に合わせている。今迄以上に両極に分かれてきている。
家計	県南	一般小売店	かつて新入学シーズンと言われたマーケットはすでに約3分の1まで縮小している。(ピーク時を昭和60年代前半として)
家計	県南	商店街	人材派遣会社グループが一極集中のリスク分散・コスト削減を目的に八戸市中心街に本社機能の一部を移管・開設する。これを機に他企業誘致にも弾みとなるよう期待。
家計	県南	一般飲食店	市町村合併で経済のカンフルになる事を期待するものです。

家計	県南	レストラン	(調査に関して)もう少し具体的な質問の方が答えやすい。
家計	県南	タクシー	新市発足に当たり、何か上昇気運が起こって来ないかと心待ちにしている。
家計	県南	美容院	社会全体の体力不足を感じる。個人情報保護法、ペイオフ、市町村合併など個人を中心として不安と落ち着かない様子です。
家計	県南	ガソリンスタンド	飲食店関係がひまなようです。
家計	県南	設計事務所	商工会議所と商工会の合併が法律上不可能なようですが、経済産業省で、それを可能にしなければ、折角合併しても商工業においてそのメリットが少ないのでは。
企業	県南	食料品製造	水産食品は原料高の製品安が顕著で利益が出ない。3月、4月は春を迎えウキウキしてきて売り上げが上向くのには今年は今いちです。
企業	県南	紙・パルプ製造	せっかく気候が良くなってきたというのに、ガソリンが高くなった。
企業	県南	電気機械製造	このような中でもやはり日々コツコツと仕事の見直し、改善をしているところは利益を確保している。マスコミに振り回されて足元がフラフラしている経営はダメ。 青森-東京線、減便は問題。観光に影響大。県として毅然とした交渉をのぞむところです。
企業	県南	建設	県内金融機関の赤字決算の県内経済に与える影響が気になる。
企業	県南	経営コンサルタント	求人がいづらか良くなっているように思う。低迷期は脱したか?
家計	下北	一般飲食店	いつも同じ回答で自分でも心苦しいのですが前にも書いたように48年間も同じ仕事をしていますが本当に先の見通しが出来ないのです。少しずつでも良くなるよう祈っております。
家計	下北	レストラン	米国産牛肉の輸入再開はいつ、早く安くて美味しい牛肉を、早期再開を願っています。
家計	下北	スナック	都会の一部、特に大企業は好調ですが、青森特に下北地方は開業23年間で最悪です。
家計	下北	都市型ホテル	国・県・市町村に関する税金が重みとなってそのため倒産になる可能性が大きい先も出てきている。反面税収が上がらず県・市町村の収支はマイナスというが、人事的デューデリジェンスを公務員も集中と選択の中で行えば、(無理な市町村が多いと思いますが)負の乗数効果からは逃れるものと考えられる。
家計	下北	タクシー	本調査が県の景気政策等に生かされるようお願いします。例えば入札制度でただ安ければ良いとした場合、賃金、雇用や出来たものの安全性や信頼性で逆効果も考えられます。バランスのとれたコストの算定での規制緩和や入札制度をお願いしたいと思います。
企業	下北	食料品製造	国のお金が、新潟、そして福岡に集中投入される事を考えると、その他の地方の公共事業は益々厳しいと思う。